

県内の感染状況 (12/6 (火)時点)

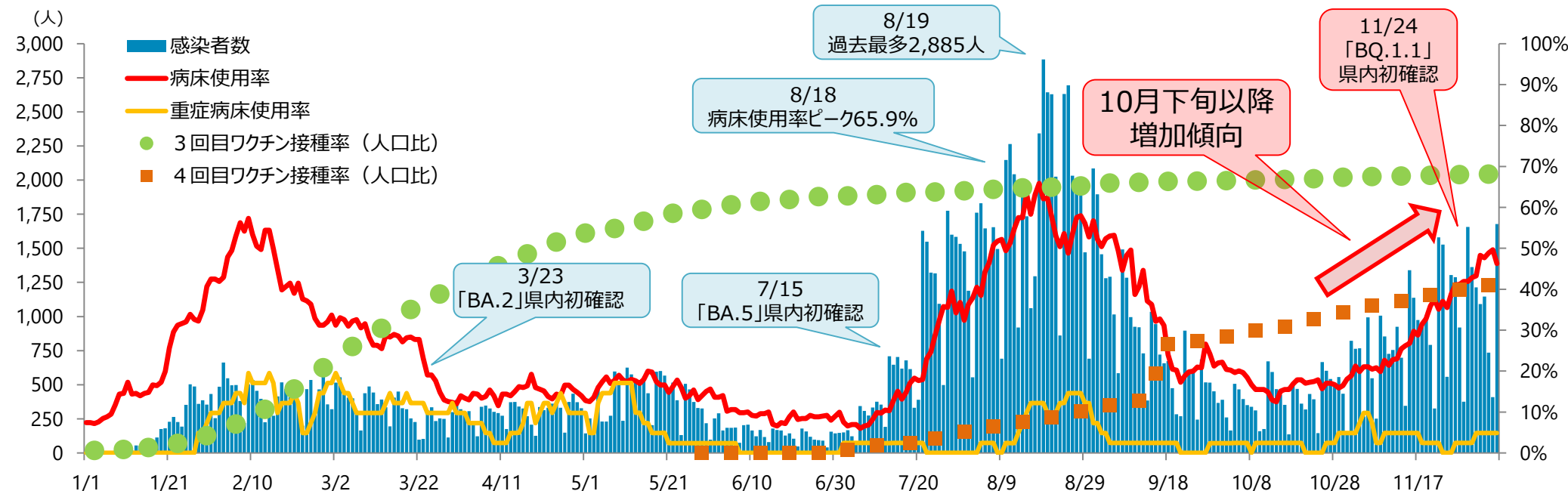


○ 10月下旬以降 **新規感染者数の増加** とともに **病床使用率が上昇**

○ 本日 **1,678人** 直近1週間 **7,635人**
(病床使用率 **46.3%** 重症病床使用率 **4.9%**)

○ 本県では **インフルエンザの流行は発生していない**

	11/22	11/29	12/6
直近1週間	6,763人	7,630人(+12.8%)	7,635人(+0.1%)
病床使用率	35.1%	41.9%(+ 6.8%)	46.3%(+4.4%)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入院率 (入院者数 / 感染者数)	10.50%	5.10%	3.30%	3.20%	2.90%	3.30%	2.43%	2.03%	1.68%	2.53%	2.08%	1.63%
重症化率 (死亡者を含む) (重症者 (死亡者含む) 数 / 感染者数)	0.23%	0.43%	0.24%	0.14%	0.03%	0.09%	0.03%	0.12%	0.13%	0.11%	0.13%	0.03%

← BA.1 → BA.2 → BA.5

モニタリング指標の見直しについて

国が新たに示した「オミクロン株対応の新レベル分類」に基づく見直し

- レベル判断は、病床使用率だけでなく、感染状況や保健医療の負荷などの状況を併せて見ながら、総合的に判断
- それぞれのレベルの状況に応じて、適切に対策を検討・実施

	レベル1 (感染小康期)		レベル2 (感染拡大初期)	レベル3 (医療負荷増大期)	レベル4 (医療機能不全期)
	感染要注意	感染拡大注意報	感染拡大警報	感染まん延特別警報	感染拡大緊急事態
病床使用率 (重症病床使用率)	20%未満 (-)	20%以上 (-)	30%以上 (-)	50%以上 (同上)	80%以上 (同上)
感染状況	・低位で推移または徐々に増加		・急速に増加	・医療負荷を増大させるような数	・想定を超える膨大な数
保健医療の負荷の 状況の例	・外来、入院医療ともに負荷は 小さい		・発熱外来の患者数が急増し、負荷が 高まり始める ・救急外来の受診者数が増加 ・医療従事者の欠勤者数が上昇傾向	・発熱、救急外来に多くの患者が殺到し、 重症化リスクの高い方がすぐに受診でき ない状況が発生 ・救急搬送困難事案が急増 ・入院患者の増、医療従事者の欠勤者 の多数発生により、入院医療の負荷が 高まる	・一般外来に患者が殺到 ・通常医療も含めた外来医療 全体が機能不全 ・入院医療がひっ迫 ・自宅療養中、施設内療養中 の死亡例が多数発生 ・通常診療を大きく制限

【参考】旧モニタリング指標

	レベル0,1	レベル2		レベル3	レベル4
	感染要注意	感染拡大注意報	感染拡大警報	感染まん延特別警報	感染拡大緊急事態
病床使用率 (重症病床使用率)	20%未満 (同上)	20%以上 (同上)	30%以上 (同上)	50%以上 (同上)	-
新規感染者 (週/10万人)	20人未満	20人以上	30人以上	50人以上	-

本県のレベルは総合的に判断し **レベル2「感染拡大警報」** を継続



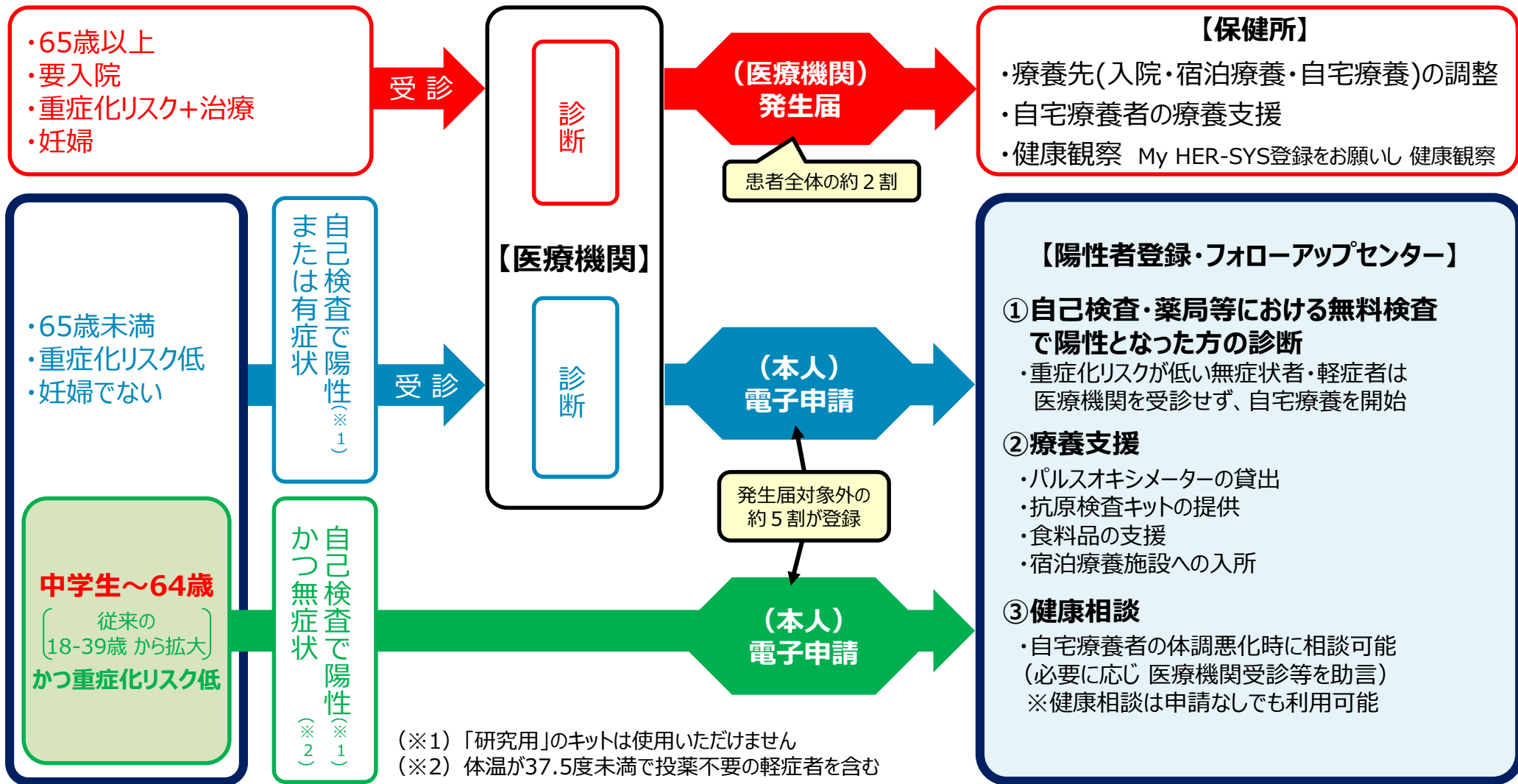
医療提供体制の強化

病床利用率30%超 感染者も増加していることから「医療負荷が高まっている状態（第2段階）」に移行

- 県民の皆様は
 - ・ 土日祝日ではなく **なるべく平日・日中の受診** にご協力を
 - ・ **新型コロナ・インフルエンザ両方のワクチン接種** や **抗原検査キット・解熱鎮痛剤の準備** など改めて **同時流行への備え** をお願いします
- 医療機関の **診療時間の延長** **休日当番医の拡充** を要請
 - ➔ 金沢市広域急病センター **毎週日曜・祝日** 小児科に発熱外来を設置
- 陽性者登録・フォローアップセンターの対象者を **中学生～64歳** に拡充（明日12/7から）

	◆比較的抑えられている状態 (第1段階)	◆医療負荷が高まっている状態 (第2段階)	◆医療負荷が顕著な状態 (第3段階)
県民	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの両方接種 ・新型コロナ検査キット、解熱鎮痛薬の準備などの備え 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽症者は土日祝日ではなくなるべく平日に受診 ・(新型コロナ陽性の)中学生～64歳は陽性者・登録フォローアップセンターへ登録 	
医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン同時接種体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 【外来診療の量的拡充】 ・診療時間の延長 ・休日当番医の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 【外来診療の効率化】 ・新型コロナ自己検査 ・電話・オンライン診療 ・インフルエンザの可能性が高い場合(家族がインフルエンザ等) 検査なしで診断
県・保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナやインフルエンザの感染状況公表 ・県民へのワクチン接種や同時流行への備えを呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・陽性者登録・フォローアップセンターの対象者の拡大 18～39歳 → 中学生～64歳 ・県民への平日受診の呼びかけ 	

新型コロナが疑われる場合(発熱時等)の対応



※ 自己検査で新型コロナ陰性であった場合でも
発熱がある場合は インフルエンザの可能性を含め かかりつけ医を受診してください



医療・検査体制

○ 最大確保病床 518床 → **523床** に拡大(+5床)

◎ 最大確保病床・運用病床

○ 運用病床 12/8(木)から **最大の523床** で運用

		病床数	医療圏別		
			南加賀	石川中央	能登
現 状	最大確保病床 (フェーズ5)	518	78	351	89
体制強化	最大確保病床 (フェーズ5) (本日12/6から適用)	523	78	351	94

◎ 無料検査・一斉検査

R5年1月10日まで延長済 (一斉検査は当面の間実施)

検査の種類	対 象	備 考
無料検査 県内276薬局	無症状の 県民の方	重症化リスクの低い陽性者 (中学生-64歳 ・基礎疾患なし) は 陽性者登録・フォローアップセンターに申請・登録
一斉検査 感染拡大・重症化 リスクのある施設	病院・介護施設・ 保育所・小学校等 の職員	【変更なし】抗原検査キットの配布により週2回程度

※症状のある方 (発熱、のどの痛み等) は **診療・検査医療機関を受診**してください。



ワクチン接種の促進

接種は強制ではありませんが **積極的な接種をお願いします**

< 新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンは **同時接種が可能** です >

◎ 新型コロナワクチン

県庁19階 いしかわ県民ワクチン接種センター「**集中接種期間**」

12/11・18・25(日)の3日間
臨時開設

〔 現在：毎週土曜 10時-12時／13時-17時 予約枠360人 (モデルナ BA.1ワクチン)
12/10-11・17-18・24-25 は土・日で 予約枠720人 (モデルナ BA.4-5ワクチン) 〕

		10月	11月	12月	1月	2月
一般 12歳以上	4回接種済	オミクロン株対応ワクチン接種 (3~5回目)				
	3回接種済					
	2回接種済					
	1・2回目未接種	従来型	3か月後にオミクロン株対応ワクチンの接種が可能 (12月末で国から供給終了、無くなり次第接種終了)			
小児 5-11歳	2回目接種から 5か月後	小児接種 (3回目)				
乳幼児 6か月-4歳		10/24-	乳幼児接種			

◎ 季節性インフルエンザワクチン

- ・ 全国で**過去最大の供給** (約7,042万人分)
- ・ 本県にも随時供給 (約48万人分 ※11月第5週時点)



65歳以上の定期接種対象者の方など
希望者は早めの接種を

救急車の適切な利用をお願いします



石川県内における救急搬送困難事案件数の推移

救急搬送困難事案：「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

救急搬送困難件数 (件)

新規感染者数 (人)



救急車の適切な利用をお願いします



必要な方が救急医療を受けることができるよう
適切な受診を心がけるようご協力をお願いします

◎ 緊急を要する場合（こんな時はすぐに救急車をご利用ください！）

- 呼びかけても 肩をたたいても **反応がない**（意識がない）
- **けいれんが止まらない**
- **呼吸がない** もしくは **呼吸困難な状態**
- **激しい痛み**（頭痛 胸痛 腹痛など）
- **大量の出血** もしくは **出血が止まらない**
- **顔のゆがみ 上肢などの麻痺**（腕や足が動かない）
舌のもつれ

◎ 比較的症状が軽い場合

- まずは **かかりつけ医に連絡** をお願いします
- 休日・夜間で **かかりつけ医が対応できない場合は**
休日・夜間応急診療所や**在宅当番医** に連絡
- **夜間小児救急電話相談** では小児科医や
看護師が急病等への対処をアドバイスします

○ 救急受診アプリ「Q助」（消防庁）
症状に応じた緊急度と対応が表示されます
https://www.fdma.go.jp/relocation/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app/kyukyu_app_web/index.html



○ 医療機関を受診するか迷われる方は
「石川県発熱患者等受診相談センター」まで
0120-540-004（フリーダイヤル）
24時間対応（土日祝日含む）

○ 診療・検査医療機関はこちら
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html>



○ 休日当番医の連絡先等はこちら
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryuu/support/iryuukeikaku/kyuukyuu.html>



○ **お子さんの夜間の急病等の対処へのアドバイスはこちら**
#8000 又は
076-238-0099（午後6時～翌朝8時）



重症化リスクの高い入院患者・入所者の感染防止のため、
面会には一定の制限を設けていますので、ご注意ください

- 大人数・長時間の面会はお断りすることがあります。
（人数・面会時間の制限）
- 基本的な感染対策（体調確認・マスク・手指消毒等）に加え、
面会場所を限定（換気・距離・大部屋は避ける等）したり、
一定の距離をとっていただく場合があります。
- 医療機関では、面会の必要性・重要性が高い場面（新生児・小児、
出産立ち会い、看取りなど）以外の面会をお断りすることがあります。

※ 詳しくは、各施設にお問合せください



○医療機関を受診される方へ

※発熱など症状のある方は かかりつけ医や休日当番医を受診してください

**※県立中央病院など 救急対応を行う病院では
緊急性が高い患者さんの治療を優先するため 検査を行っていない場合があります**



- Google Mapで お近くの診療・検査医療機関を検索できます
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html>
- 日曜・祝日は 休日当番医に 事前に電話の上 受診してください
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryuu/support/iryuukeikaku/kyuukyuu.html>
- 医療機関を受診するか迷われる方はこちらまで
「石川県発熱患者等受診相談センター」 0120-540-004 (フリーダイヤル) 24時間対応 (土日祝日含む)



○新型コロナウイルス感染症に感染された方へ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/kannsennsha.html>



○濃厚接触者・感染者と接触のあった方へ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/noukousesshokusha.html>



○無料検査に対応する薬局はこちら

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/ippankensa.html>



皆様へのお願い

この冬は **季節性インフルエンザとの同時流行** が懸念されていることに加え、
これから **年末年始** を迎え、人との接触の機会が増加し、感染リスクが高まります

改めて **基本的な感染防止対策の徹底** をお願いします
○「三つの密」の回避 ○効率的な換気 ○場面に応じた適切なマスクの着脱 など

特に

外出の際には

- ・体調が悪い場合は、外出、移動を控える
- ・県をまたぐ帰省、旅行などの際には、感染防止対策を徹底

飲食の際には

- ・会話の際にはマスク着用
- ・「いしかわ新型コロナ対策認証店舗」の利用

※事業者は「業種別ガイドライン」を遵守

職場では

- ・テレワーク、時差出勤の推進
- ・人が集まる場所での感染防止対策を徹底
(マスク着用の周知、効率的な換気、手指消毒設備の設置など)
- ・居場所の切り替わりに注意
(休憩室、更衣室、喫煙室など)

家庭では

- ・暖房機器使用時も効率的な換気
- ・こまめな手洗い
- ・帰省等で高齢者や基礎疾患のある方と会う際は、事前の検査を行うこと